



日本保育学会 近畿ブロック

共催:環太平洋乳幼児教育学会 日本支部

2018年 研究会

新指針・要領をふまえて、保育者によるカリキュラム・マネジメントを考える

このたびの指針・要領の改訂(改定)では、すべての子どもに質の高い保育を保障することが目指されているといえるでしょう。その具現化のために、保育の質の維持・向上を図るために、カリキュラム・マネジメントの重要性が位置づけられていると考えます。新しい時代の日本の保育の科学化をさらに進めるために実践知の可視化や、保育の省察や対話を積み重ねていくことが必要です。一人ひとりの保育者そして一つの園のカリキュラム・マネジメントこそが、保育実践の質の維持・向上のカギを握っていると考えます。新制度のもと「共に考えよりよい保育を創る時代」を探求する機会として、また、保育の実践者と研究者が共に「保育者によるカリキュラム・マネジメント」について議論する機会として、本研究会を開催したいと思います。

日時 2018年2月17日 9:30-16:00

会場 神戸大学附属幼稚園(兵庫県明石市山下町3-4)

プログラム

9:30-10:00 受付

9:30-11:30 保育の公開

11:30-12:30 実践の振り返りと意見交流会
(昼休憩)

13:30-13:45 開会式

13:45-15:45 シンポジウム

話題提供1:10視点カリキュラムについて(神戸大学附属幼稚園)

話題提供2:「10の姿」を活かしたドキュメンテーションについて(舞鶴市)

話題提供3:「実践の省察」から保育の質を高める試み(和歌山表現保育の会)

指定討論1:日本保育学会近畿ブロック理事 西本望(武庫川女子大学)

指定討論2:PECERA JAPAN理事 深田昭三(愛媛大学)

15:45-16:00 閉会式

18:00-20:00 情報交換会(明石グリーンヒルホテル:明石市大明石町2-1-1)

資料代¥1,000(学部生無料)、情報交換会費用(¥5,000を予定)は、当日、受付にてお支払いください。

お申込みは、①お名前、②ご所属、③情報交換会参加可否を明記のうえ
pecera.japan.secretariat@gmail.com までメールをお送りください。

